

令和7年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：山口県

農業委員会名：美祢市農業委員会

I 農業委員会の状況(7年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

任期満了年月日 令和8年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	12
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	25	25	8

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,692
農業経営体数	1,208

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,125
女性	424
40代以下	5

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	87
基本構想水準到達者	48
認定新規就農者	9
農業参入法人	9
集落営農経営	26
特定農業団体	0
集落営農組織	26

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	3,120	426				3,550

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	3,550 ha	1,355 ha	38.2 %
課題	地域計画の目標実現に向けて、認定農業者への集積強化、後継者、有害鳥獣、ほ場整備の対策が課題である。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和7 年度	集積率	70 %
今年度の新規集積面積	1,130 ha	農地面積(C)	3,550 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	2,485 ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)/(C)	70.0 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	3 ha	農地面積(F)	3,550 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	1,358 ha	今年度末の集積率(H)=(G)/(F)	38.3 %
目標に対する達成状況(H)/(E)	54.7 %		

農業委員会の点検結果	市内14地区の農業の現状や課題、将来的な展望を農業者や各関係機関と協議等を進め、地域計画の策定を行った。次年度以降、その内容等を踏まえ農地の集積率の向上に努めた。 累計集積面積は、推進員による農地の利用集積に向けた取り組みの強化を図り、昨年度に比べ3ha増加した。単年度の利用権の設定面積については、依然として高齢化や資材等の高騰により離農者が増加傾向にある中、近年の米価高騰により、昨年度に比べ59haと大幅に増加することができた。
------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	47 ha	26 ha	21 ha
未相続農地・狭小農地等、農業従事者に速やかに継承できず、遊休化が進んでいる。			

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	27.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	5.4 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	23.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	地域計画の実現を進めていくとともに、本市の現状、農業者等の利用意向に基づき関係機関や地域と協議を進め、基盤整備の計画等の検討を行う。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.5	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	27.8	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	農業者等の利用意向に基づき、関係機関と協議し、計画の検討を行った。
-------------------------	-----------------------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.6	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和7年8月～10月		令和7年8月～令和8年1月	
	1号遊休農地の面積	46.7 ha	うち緑区分の遊休農地	24.7 ha
			うち黄区分の遊休農地	22.4 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和8年2月～3月		令和8年3月	

農業委員会の点検結果	農地パトロール、意向調査、解消に必要な指導・助言・あっせん、非農地判断等を行った結果、わずかながら昨年度より遊休農地が0.1ha減少した。 遊休農地は、主に区画整備をしていない地域に散在しているが、近年、農地に無関心な地権者が増加するとともに、連絡不通や所在不明等により土地利用の協議が進まず、区画整備を実施している農地にも遊休農地が増えてきている。また、担い手の高齢化や後継者不足等により、耕作ができない農地が増加しており、今後は、その実情を踏まえた遊休農地対策を進める必要がある。
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	4年度新規参入者	5年度新規参入者	6年度新規参入者
	2 経営体 33.8 ha	2 経営体 1.3 ha	2 経営体 1.7 ha
課題	担い手の高齢化が進んでいるため、若い世代の担い手の育成が急務である。就農促進を図るため、関係機関と連携し、農地や住宅のあっせん、新規就農者の初期投資の軽減、営農技術の習得、生産資材高騰への支援体制の強化を進める必要がある。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	213.8 ha	248.5 ha	211.7 ha	224.7 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	22.5 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.7	ha
公表URL	—	(その他の公表方法)	市の掲示板
目標に対する達成状況(B)/(A)		3.1	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	1	経営体
	取得農地面積	0.7	ha

農業委員会の点検結果	県美祢農林水産事務所、市農林課、JA美祢統括本部、共済組合、農地中間管理機構、農業委員会から構成される美祢市担い手育成協議会のもと、新規参入者のあつせんや相談活動を行った結果、1経営体が就農された。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	7	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19	人
			農地利用最適化推進委員の人数	25	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	遊休農地の解消	市内全域の一斉調査(非農地調査を含む)
12月	農地の集積	担い手への農地集積・集約化に係る意向把握
2月	新規参入の促進	新規参入相談会へ参加及び周知活動

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	8	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
8月	遊休農地の解消	市内全域の一斉調査、解消に必要な指導・助言・あつせん、非農地判断等を行った結果、わずかながら昨年度より0.1ha遊休農地が減少した。
9～3月	農地の集積	農地流動化推進員会議を開催し、新たな担い手の掘り起こしと既存の担い手への推進活動を行い、昨年度から集積面積は59haと大幅に増加した。また、各関係機関と連携し、地区別座談会等を開催し、地域計画の策定に取り組んだ。
3月	新規参入の促進	美祢市地域担い手育成総合支援協議会を中心に、意欲ある農業者の情報共有を行い普及活動等に取り組んだ。また、担い手育成の一環として、研修会を実施した。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	未定	相談会名	未定
参加者数	1	開催場所	未定
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	0 回
---------------	-----

開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待をやや下回る結果となった

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	4
目標に対し期待を上回る結果が得られた	7
目標に対して期待どおりの結果が得られた	5
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	29

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入